

第7章 事後調査の結果と環境影響評価の結果との比較検討の結果

7.1 騒音

7.1.1 建設作業騒音

1) 調査結果

建設作業騒音調査結果を表 7-1 に示した。本年度の調査結果を評価図書の予測値と比較した結果、いずれの地点も評価図書の予測値を下回る結果であった。

表 7-1 建設作業騒音調査結果

単位: dB(A)

地点	測定時間帯の 最小値～最大値 (L_{Aeq})	時間帯区分 の平均値	評価図書での 予測値
東村高江	30.1～35.9	33	42.0
東村車	32.5～38.4	35	39.7

注) dB(A) とは A 特性を示す。

7.1.2 道路交通騒音、交通量

1) 調査結果

道路交通騒音調査結果を表 7-2 に示した。本年度の調査結果を評価図書の予測値と比較した結果、いずれの地点も評価図書の予測値を下回る結果であった。

表 7-2 調査結果(道路交通騒音、交通量)

単位: dB(A)

地点	調査回	測定時間帯の 最小値～最大値 (L_{Aeq})	時間帯区分の 平均値	評価図書での 予測値	交通量 (台/日)
国頭村安波	1回目	42.6～56.1	52	57.2	417
	2回目	49.1～56.4	54		495
東村平良	1回目	44.1～59.6	56	63.5	2,479
	2回目	54.0～62.4	59		2,374

注 1) 表中の交通量の単位: 台/日

注 2) dB(A) とは A 特性を示す。

7.2 赤土等による水の濁り

7.2.1 下流河川での SS 濃度、濁度

1) 平常時の調査結果

平常時における SS (浮遊物質)測定結果と評価図書との比較検討の結果を表 7-3 に示した。

本調査の結果は、平常時においては本調査の結果は評価図書の調査結果と同様に低い値であった。

表 7-3 平常時の SS(浮遊物質)に係る比較検討の結果(N-4.1)

区分		調査期間	SS濃度(mg/L)	濁度
環境影響評価図書 ^{注1)} の調査結果		平成17年4月20日	<1-5	0.5-2.5
		平成18年2月16日	<1	0.6
平成23年度	土工事開始前	平成23年6月14日	<1	0.4
		平成23年9月30日	<1	0.4
		平成23年11月24日	<1	0.3
		平成23年12月19日	<1	0.3
平成24年度	土工事開始後	平成24年9月26日	1	0.7
		平成24年10月25日	<1	0.2
		平成25年2月7日	<1	0.2

注1)環境影響評価での調査地点のうち、N-4地区南側の沢の結果(3ヶ所)を示した。

2) 降雨時の調査結果

降雨時におけるSS(浮遊物質)測定結果を表7-4に示した。土工事開始前の平成23年10月4日の降雨では最大値が176mg/L、土工事中は最大値が118mg/Lであった。土工事中の浮遊物質(SS)は、予測値を上回る結果であったが、工事現場からの処理水は「7.2.2 濁水処理水のSS濃度」に示すとおり基準を満足していること、土工事開始前の最大値よりも低いこと、また、N-4.1の下流河川は工事前から河床に赤土等の堆積がみられていたことから、河床の赤土等が巻き上がり水の濁りが生じたと考えられる。

表 7-4 降雨時の SS(浮遊物質)に係る比較検討の結果(N-4.1)

区分	採水日	降水量 (mm/日)	SS濃度(mg/L) の最大値	評価図書での 予測値
土工事 開始前	平成23年10月4~5日	171.0(10/4) 38.0(10/5)	176	46.9 ^{注)}
	平成23年11月9~10日	46.0(11/9) 22.0(11/10)	121	
	平成24年9月16日	138.5(9/16)	187	
土工事 開始後	平成24年9月24~25日	10.0(9/24) 0.0(9/25)	7	
	平成24年9月29日	152.0(9/29)	55	
	平成24年11月4~5日	58.5(11/4) 0.0(11/5)	25	
	平成24年11月11~12日	41.0(11/11) 0.0(11/12)	43	
	平成24年12月2~3日	39.5(12/2) 1.0(12/3)	12	
	平成25年1月13~14日	78.0(1/13) 5.5(1/14)	118	

出典)降水量:気象台東村観測所の観測値

注)N-4地区における予測値

7.2.2 濁水処理水の SS 濃度

工事中における濁水処理水の水質調査結果を表 7-5 に示した。処理水は、全て SS 換算濃度 25mg/L 以下であり、適切に処理されていた。

表 7-5 濁水処理水の水質調査結果 (N-4.1)

測定日	透視度 (cm)	SS (mg/L)	基準値
平成 24 年 10 月 1 日	26.0	24	SS: 25mg/L 以下
平成 24 年 10 月 18 日	27.0	23	
平成 24 年 11 月 6 日	26.2	24	
平成 24 年 11 月 19 日	26.5	24	
平成 24 年 11 月 24 日	25.9	25	
平成 24 年 11 月 26 日	26.9	24	
平成 24 年 11 月 27 日	27.2	23	
平成 24 年 11 月 30 日	26.4	24	
平成 24 年 12 月 7 日	26.2	24	

7.2.3 下流河川の底質 (SPRS)

造成工事後における下流河川の SPRS の調査結果を表 7-6 に示した。N-4.1 の下流河川の底質調査結果は、28.0kg/m³ であり、評価図書での調査結果と比較して赤土等の堆積状況の悪化は確認されていない。

表 7-6 下流河川における SPRS 調査結果 (N-4.1)

測定日	懸濁物質含有量 (kg/m ³)	評価図書での調査結果 (kg/m ³)
平成 25 年 2 月 7 日	28.0	48.8

7.3 植物

7.3.1 流下経路における貴重な植物種及び溪流河岸植生の生育・分布状況

1) 流下経路における貴重な植物種

N-4.1の流下経路における貴重な植物種の確認状況を表7-7に示した。工事前の平成22年度は貴重な植物種は158ヶ所、平成23年度では150ヶ所、土工事を実施した平成24年度では147ヶ所で確認した。消失した地点については、現場の状況から台風等に伴う降雨の増水による流亡や、リュウキュウイノシシの採餌による掘り返しにより消失したものと考えられ、これらは自然変動の範囲内と判断した。また、平成24年度に確認した地点については、概ね良好に生育しており、赤土等の流出による影響は確認されなかった。

表 7-7 流下経路における貴重な植物の確認地点の推移

地区	分類	種名	工事前 (平成22年度)	平成23年度		平成24年度	
				6月	10月	10月	
N-4	維管束植物		1	1	1	1	
			30	29	29	26	
			28	27	27	27	
			7	7	7	7	
			5	5	5	5	
			13	11	11	10	
			2	2	2	2	
			36	34	34	34	
			1	1	1	1	
			5	5	5	5	
		蘚苔類		2	2	2	2
				6	6	6	6
				1	0	0	0
				1	1	1	1
				15	14	14	15
		1	1	1	1		
		1	1	1	1		
		3	3	3	3		
	合計			158	150	150	147

2) 溪流河岸植生

N-4.1 の流下経路における溪流河岸植生の生育状況を表 7-8 に示した。

調査を実施した群落は、サイゴクホングウシダ群落、ヘラシダ群落、ヘツカシダ群落、ホソバチジミザサ群落、群落の 5 群落である。

その結果、平成 24 年度に行った調査では、溪流河岸植生の生育状況に大きな変化は確認されなかった。

表 7-8 溪流河岸植生の生育状況の推移

No.	生育範囲 (m)	区分	群落名等 (優占種名)	工事前 (平成 22 年度)	平成 23 年度		平成 24 年度
					6 月	10 月	10 月
				被度・群度	被度・群度	被度・群度	被度・群度
1	1.5×4.5	優占種	サイゴクホングウシダ群落 (サイゴクホングウシダ)	3・3	3・3	3・3	3・3
		優占種以外	ヘラシダ	2・2	2・2	2・2	2・2
2	3×6	優占種	ヘラシダ群落 (ヘラシダ)	3・3	3・3	3・3	3・3
		優占種以外	オキナワキジノ 	1・2 1・2	1・2 1・2	1・2 1・2	1・2 +・2
3	4×15	優占種	ヘツカシダ群落 (ヘツカシダ)	3・3	3・3	3・3	3・3
		優占種以外	クワズイモ アオノクマタケラン	1・2 +・2	1・2 +・2	1・2 +・2	+ +・2
4	1×3	優占種	ホソバチジミザサ群落 (ホソバチジミザサ)	4・4	4・4	4・4	4・4
		優占種以外	クワズイモ ケホシダ	2・2 +・2	1・2 +	1・1 +	+ +・2
5	3×5	優占種		3・3	3・3	3・3	3・3
		優占種以外	ヘラシダ	2・2	2・2	2・2	2・2



サイゴクホングウシダ群落



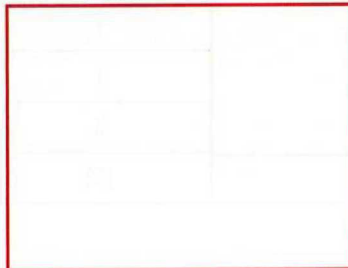
ヘラシダ群落



ヘツカシダ群落



ホソバチジミザサ群落



群落

(確認した溪流河岸植生の写真)

7.3.2 貴重な植物種の移植後の生育状況

移植対象種の生育状況の推移を表 7-9 に示し、生育状況について表 7-10、図 7-1 に示した。

N-4 地区及び H 地区における移植株数は、両地区合わせて 58 株であり、平成 24 年度末現在で 49 株が生育している。移植した株の生存率は、平成 24 年度末現在で、平成 19 年度に移植した株の 83%、平成 24 年度に移植した株の全て(100%)、全体では 84%となっている。

移植地別の生存率をみると、N-4 地区では、N4①の生存率は 0~33%、N4②の生存率は 100%であり、N4①において生存率が低い、N4②では生存率が高い。なお、N4①で生存率が最も低かった [] (1 株)は、移植後に開花から [] と分かり、移植対象外の種であったことが判明している(移植当時は [] の可能性が考えられたため、移植を実施した)。また、H 地区では、H ①の生存率は 100%、H②の生存率は 88%であり、全ての移植地で生存率が高い。

N-4 地区の移植株の生育状況をみると、N4①の生存株の植物高は、 [] では 52.0cm(移植時)が 53.0cm(平成 24 年度)、 [] では 25.0cm(移植時)が 38.0cm(平成 24 年度)となっており、両種とも移植時より生長している。両種とも開花等は確認されていないものの、新芽の展開が確認されている。また、 [] は平成 21 年度に枯死しているが、その前年の平成 20 年度では開花・結実が確認されている。

N4②では、 [] (3 株)と [] (1 株)で、平成 24 年度に開花や結実が確認されているほか、 [] では移植地内に移植した株以外の生育も確認されている。

H 地区の移植株の生育状況をみると、H①の生存株の平均植物高は、 [] では 91.6cm(移植時)が 93.7cm(平成 24 年度)、 [] では 17.6cm(移植時)が 41.6cm(平成 24 年度)、 [] が 92.4cm(移植時)が 86.4cm(平成 24 年度)となっており、 [] と [] では、移植時より生長している。また、 [] では、平成 23~24 年度に各 1 株で開花や結実が確認されている。 [] の平均植物高は移植時より数 cm 低下しているが、低下した主な要因は、平成 24 年 6 月に台風の影響で 1 株が幹折れし、樹高が著しく低下(102cm→32.0cm)したためである。なお、その株は同年 9 月には剪定後の幹から萌芽し、平成 25 年 1 月には順調な生長を確認している。

H②の生存株の平均植物高は、 [] では 29.1cm(移植時)が 26.7cm(平成 24 年度)と 2.4cm 低下している。ただし、移植後から生長していないわけではなく、株によっては横に生長している。また、全ての株で新芽が確認されたほか、平成 23 年度以降では、毎年 2 株で開花や結実も確認されている。

よって、本調査結果からは、N4①については、その枯死原因を踏まえて、今後の移植に反映することが必要と考えられる。

表 7-9 移植株の生存状況の推移

移植地	種名	移植株数	移植年度	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	
				生存株数	生存株数	生存株数	生存株数	生存株数	生存株数	生存率(%)
N4① (10株)		6	平成19年	6	6	4	2	2	1	17
		3	平成19年	3	3	2	1注3)	1	1	33
		1	平成19年	1	1	0	0	0	0	0
N4② (7株)		1	平成19年	1	1	1	1	1	1	100
		5	平成24年						5	100
		1	平成24年						1	100
H① (33株)		19	平成19年	19	19	19	19	19	19	100
		5	平成19年	5	5	5	5	5	5	100
		9	平成19年	9	9	9	9	9	9	100
H② (8株)		8	平成19年	8	8	8	8	7	7	88
株数計 (58株)	平成19年度移植株		52	52	48	45	44	43	83	
	平成24年度移植株							6	100	
	合計		52	52	48	45	44	49	84	

注1) [] は移植時に開花がみられなかったため種名が特定できなかったが、後に [] と判明した。

注2) [] は、冬季(年度の最後の調査)に落葉して地上部が確認できない株については、次年度の調査で地上部の葉が確認された場合は、前年度の冬季調査結果を生存として計数した。また、本年度調査については、最終調査が冬季のため、株によっては落葉して生存を判定できない場合、秋季の調査結果を基に計数している。

注3) 平成22年度3月において、2株のうち1株は生存不明であったが、平成23年度に枯死が確認されたため、生存株は1株とした。

表 7-10 移植株の生育状況

移植地	種名	生存株数	平均植物高(cm)注1)		開花・結実等の確認状況
			移植時	平成24年度	
N4①		1	52.0	53.0	
		1	25.0	38.0	
		0	-注2)		平成20年度に開花・結実
N4②		5	-注2)	-注2)	平成24年度に3株で結実
		1	-注2)	-注2)	平成24年度に花柄伸長注3)
H①		19	91.6	93.7	平成23年度に1株で開花・結実 平成24年度に1株で結実
		5	17.6	41.6	
		9	92.4	86.4	
H②		7	29.1	26.7	平成23年度に2株で開花、うち1株で結実 平成24年度に2株で開花・結実

注1) 平均樹高(cm)は、生存株の移植時及び平成24年度末の値を示す。

注2) []、[]、[] については、時期によっては地上部が消失する種であることから、植物高による比較は出来ないため、「-」で示した。

注3) その後に開花・結実が確認された。

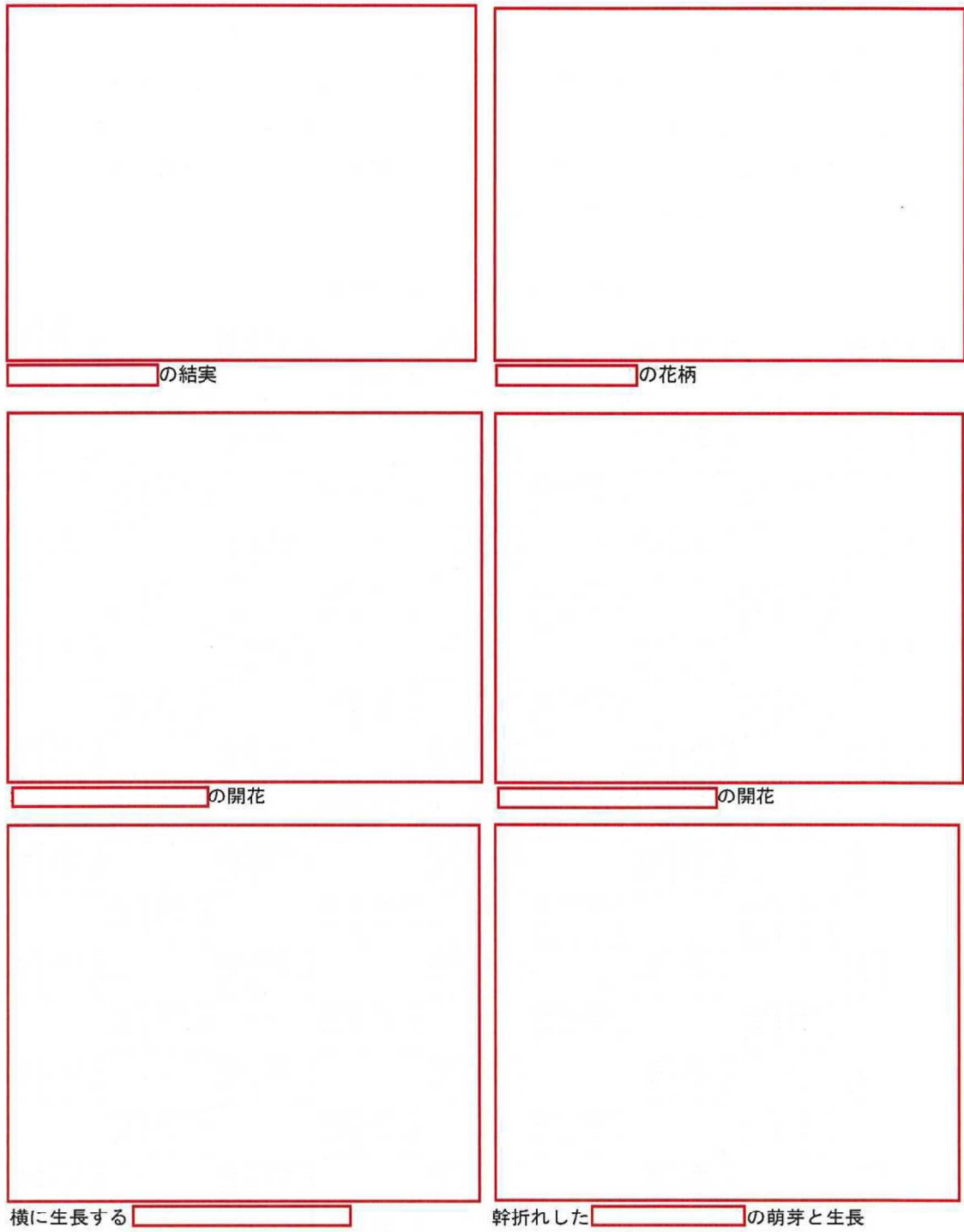


図 7-1 移植株の生育状況写真(開花・結実等)

7.3.3 林内の気温・湿度

N-4.1の気温の推移について表 7-11に示した。工事前の月平均の最大値は26.8～27.9℃、無障害物帯伐採後の月平均の最大値は26.5～28.1℃であった。

工事前におけるN-4.1の湿度について表 7-12に示した。月平均湿度は、工事前の最小値は68.3～76.2%の範囲であり、無障害物帯伐採後の最小値は71.0～79.1%であり、湿度の低下は確認されなかった。

表 7-11 月平均気温の推移(N-4.1)

		単位:℃														
年	月	N-4.1	N-4.1	N-4.1	N-4.1	N-4.1	N-4.1	N-4.1	N-4.1	N-4.1	N-4.1	N-4.1	N-4.1	N-4.1	N-4.1	
		-1	N2	N3	N4	S2	S3	S4	E2	E3	E4	W2	W3	W4		
工事前	平成19年	6月	24.1	24.0	23.8	23.8	23.9	23.8	23.8	24.2	24.4	24.2	23.8	23.8	24.4	
		7月	27.4	27.1	26.9	27.0	27.1	26.9	26.8	27.7	27.8	27.5	27.0	27.1	27.9	
		8月	26.4	26.3	26.2	26.1	26.3	26.1	26.1	26.6	26.8	26.6	26.1	26.1	26.7	
		9月	25.8	25.5	25.4	25.3	25.7	25.4	25.4	26.0	26.1	25.9	25.4	25.6	26.1	
		10月	24.1	23.7	23.6	23.5	23.9	23.4	23.4	24.2	24.2	24.1	23.5	23.8	24.0	
		11月	19.5	19.1	19.0	18.9	19.3	18.7	18.9	19.7	19.5	19.6	18.9	19.2	19.3	
	平成20年	12月	16.8	16.5	16.4	16.3	16.7	16.1	16.1	17.1	16.9	17.0	16.3	16.7	16.7	
		1月	16.0	15.7	15.6	15.5	15.8	15.4	15.4	16.0	16.0	16.0	15.4	15.7	15.9	
		2月	13.2	12.9	12.8	12.7	13.0	12.5	12.6	13.3	13.3	13.3	12.7	13.0	13.1	
		3月	15.7	15.5	15.4	15.4	15.8	15.3	15.3	15.8	15.9	16.0	15.4	15.7	15.8	
		4月	18.6	18.2	18.3	18.2	18.5	18.1	18.1	18.8	18.9	18.8	18.2	18.4	18.8	
		5月	21.7	20.9	20.8	20.7	21.0	20.6	20.7	22.8	21.4	21.3	20.8	20.9	21.5	
		最小値	13.2	12.9	12.8	12.7	13.0	12.5	12.6	13.3	13.3	13.3	12.7	13.0	13.1	
		最大値	27.4	27.1	26.9	27.0	27.1	26.9	26.8	27.7	27.8	27.5	27.0	27.1	27.9	
	平均	20.8	20.4	20.4	20.3	20.6	20.2	20.2	21.0	20.9	20.9	20.3	20.5	20.9		
伐採後	平成23年	4月	18.5	18.0	17.8	17.7	18.2	17.8	17.4	18.8	18.5	18.2	18.3	18.1	18.6	
		5月	21.9	21.5	21.4	21.4	21.6	21.4	21.3	22.0	21.9	21.7	21.7	21.6	22.1	
		6月	26.1	26.1	25.9	25.9	26.0	26.0	25.7	26.7	26.4	26.0	26.4	25.9	26.6	
		7月	27.0	26.8	26.5	26.5	26.8	26.7	26.4	27.4	27.3	26.8	27.1	26.6	27.5	
		8月	27.2	26.0	25.7	25.6	26.0	26.0	25.6	26.8	26.3	26.4	26.6	25.9	26.7	
		9月	25.7	25.5	25.1	25.1	25.5	25.5	25.1	25.8	25.7	25.5	25.9	25.4	25.9	
		10月	22.9	22.9	22.5	22.4	22.9	22.9	22.4	23.0	23.0	22.9	23.0	22.7	23.0	
		11月	21.6	21.5	21.2	21.1	21.5	21.6	21.2	21.5	21.5	21.5	21.5	21.4	21.6	
		12月	16.0	15.8	15.5	15.4	15.9	15.8	15.4	16.0	16.1	16.3	15.8	15.8	15.9	
		平成24年	1月	14.4	13.2	14.0	14.1	14.4	14.3	13.9	14.4	14.5	15.1	14.2	14.3	14.3
			2月	15.0	14.9	14.8	14.8	15.1	15.1	14.6	15.1	15.2	15.8	15.0	15.0	15.0
			3月	17.1	17.0	16.7	16.9	17.1	17.0	16.7	17.3	17.5	18.7	17.2	17.0	17.3
	4月		19.3	19.1	18.9	18.9	19.2	19.1	18.7	19.4	20.0	19.6	19.2	19.1	19.4	
	5月		22.0	21.6	21.4	21.5	21.8	21.7	21.3	22.2	23.3	22.5	22.0	21.7	22.2	
	6月		25.2	24.9	24.7	25.0	24.9	24.8	24.6	25.5	26.9	25.6	25.3	24.8	25.6	
	7月		27.5	27.1	26.8	26.7	27.0	27.0	26.5	28	27.9	27.4	27.5	26.8	28.1	
	8月		27.0	26.6	26.3	26.2	26.7	26.5	26.1	27.2	27.3	26.7	26.8	26.5	27.3	
	9月		25.3	24.9	24.6	24.6	25.0	24.9	24.6	25.5	25.2	25.5	25.3	24.9	25.5	
	10月		—	22.1	21.7	21.7	22.2	22.1	21.7	22.2	22.2	22.6	22.2	22.0	22.2	
	11月		—	17.9	17.6	17.6	18.1	18.0	17.4	18.1	18.1	18.2	18.0	18.1	18.0	
	12月		—	15.7	15.5	15.4	15.9	15.7	15.2	15.8	15.9	15.8	15.6	15.9	15.7	
	平成25年	1月	—	13.9	13.7	13.8	14.2	13.8	13.6	14.1	14.3	14.1	13.6	13.9	14.0	
		2月	—	16.1	15.8	15.8	16.1	15.8	15.7	16.2	17.7	16.0	15.6	16.0	16.2	
		最小値	14.4	13.2	13.7	13.8	14.2	13.8	13.6	14.1	14.3	14.1	13.6	13.9	14.0	
最大値		27.5	27.1	26.8	26.7	27.0	27.0	26.5	28.0	27.9	27.4	27.5	26.8	28.1		
	平均	22.2	20.8	20.6	20.6	21.0	20.8	20.5	21.3	21.4	21.3	21.0	20.8	21.2		

注1) N-4.1-1はヘリ着陸帯中央部であり、地点名にあるN・S・E・Wは方位を示している。
 注2) 平成20年5月の平均値は5月1～28日の測定結果から算出した。
 注3) 平成23年4月の平均値は4月14～30日の測定値から算出した。
 注4) 平成23年8月は台風等の影響で全地点が、平成24年1～2月はN2の一部の日でデータが欠測している。
 注5) 平成24年3月の平均値は3月1～14日の測定値から算出した。
 注6) N-4.1-1はヘリ着陸帯中央部であり、工事の進捗に伴い平成24年10月に撤去した。

表 7-12 月平均温度の推移 (N-4.1)

単位: %

年	月	N-4.1	N-4.1	N-4.1	N-4.1	N-4.1	N-4.1	N-4.1	N-4.1	N-4.1	N-4.1	N-4.1	N-4.1	N-4.1	N-4.1	
		-1	N2	N3	N4	S2	S3	S4	E2	E3	E4	W2	W3	W4		
工事 前	平成 19 年	6月	91.6	94.5	95.2	95.8	94.8	94.4	96.2	93.3	92.6	93.2	94.9	94.6	91.7	
		7月	87.1	89.8	88.5	88.8	89.4	87.1	90.9	85.8	85.9	86.4	88.3	87.6	88.5	
		8月	87.4	92.5	90.5	92.4	90.7	88.8	93.0	88.3	88.7	88.7	90.8	90.3	84.7	
		9月	88.8	93.9	92.0	93.6	91.2	91.0	94.7	88.4	88.7	88.6	91.9	89.8	88.8	
		10月	81.0	86.0	82.7	84.6	81.7	84.2	88.1	79.0	80.3	78.8	82.3	79.7	82.0	
		11月	83.5	86.8	83.6	85.5	82.1	88.3	89.7	79.6	81.7	78.8	82.9	79.8	82.2	
	平成 20 年	12月	82.0	85.8	82.0	82.7	81.2	85.5	88.2	77.6	80.0	76.9	81.7	77.5	80.8	
		1月	84.8	86.8	82.4	82.0	81.6	85.3	87.3	80.0	83.3	79.8	82.3	79.5	83.8	
		2月	78.2	79.1	74.1	73.9	74.0	81.7	82.0	71.5	76.2	71.5	74.4	71.0	76.9	
		3月	74.9	73.2	71.0	70.3	70.1	74.2	76.2	69.2	73.3	69.2	70.3	68.3	73.7	
		4月	82.6	78.2	77.5	76.6	76.4	80.9	83.0	74.8	78.6	74.5	76.1	74.7	80.0	
	伐採 後	平成 23 年	5月	85.4	89.7	83.2	82.4	81.8	86.3	89.3	86.1	83.7	80.3	81.4	81.5	85.6
			最小値	74.9	73.2	71.0	70.3	70.1	74.2	76.2	69.2	73.3	69.2	70.3	68.3	73.7
最大値			91.6	94.5	95.2	95.8	94.8	94.4	96.2	93.3	92.6	93.2	94.9	94.6	91.7	
伐採 後	平成 23 年	平均	84.0	86.4	83.6	84.1	82.9	85.6	88.2	81.1	82.7	80.6	83.1	81.2	83.2	
		4月	75.5	77.7	76.5	77.4	76.0	79.1	81.5	75.4	76.8	76.7	78.7	77.1	77.1	
		5月	90.8	93.8	93.5	94.2	91.7	94.4	95.3	89.9	91.1	91.4	92.2	92.5	90.4	
		6月	91.1	91.3	92.1	91.4	90.2	91.6	92.6	88.0	89.8	90.6	90.2	90.2	88.7	
		7月	88.9	88.6	89.9	89.1	86.7	88.2	90.4	85.7	86.3	87.6	88.1	86.3	85.0	
		8月	85.2	89.8	91.1	91.3	89.0	89.3	91.1	87.2	89.5	85.6	88.9	88.3	84.9	
		9月	82.3	85.5	87.2	85.6	82.8	85.1	87.9	80.5	83.3	78.7	84.9	81.6	77.6	
		10月	85.0	87.6	89.5	89.1	85.0	87.4	91.5	84.3	85.7	85.3	87.1	84.3	82.8	
		11月	81.8	85.0	86.1	86.2	81.8	84.6	88.9	82.5	83.3	82.2	85.1	80.8	80.6	
		12月	78.3	84.3	85.7	84.4	78.5	85.3	90.0	79.6	78.6	82.6	84.2	77.5	78.4	
		平成 24 年	1月	77.3	79.5	82.7	82.6	79.0	84.2	89.9	79.5	77.4	86.1	84.8	77.1	78.0
			2月	76.1	82.9	80.3	79.7	76.1	79.8	87.1	80.4	77.0	86.6	80.4	74.8	79.7
	3月		80.4	84.8	85.2	84.9	79.8	84.3	91.8	86.8	81.9	87.2	82.9	78.6	86.8	
	4月		76.8	81.6	82.0	82.4	76.3	81.6	89.9	84.4	81.0	86.0	80.1	75.2	85.8	
	5月		83.8	89.1	88.9	89.3	84.0	88.6	88.7	87.1	91.6	90.3	88.3	81.9	89.5	
	6月		83.7	96.9	97.6	97.4	95.4	97.2	87.5	93.3	83.3	89.7	95.6	94.5	94.3	
	7月		82.4	92.5	93.8	93.5	86.6	92.2	86.9	87.4	87.8	88.8	91.3	88.3	88.6	
	8月		88.0	95.0	96.5	96.3	90.1	94.6	86.8	89.7	91.3	94.5	94.4	92.1	91.2	
	9月		80.6	92.1	94.0	93.0	92.0	91.6	86.3	82.7	88.1	85.3	87.6	91.4	83.8	
	10月		—	88.0	89.4	87.7	88.2	87.8	82.4	78.1	84.8	80.3	85.7	85.0	78.1	
	11月		—	88.6	89.0	87.8	88.6	89.0	84.9	77.5	83.1	83.1	86.8	84.1	77.5	
	12月		—	86.0	85.5	83.9	87.8	87.5	80.5	73.2	80.2	80.5	83.6	81.0	73.2	
	平成 25 年	1月	—	87.2	86.2	85.6	81.7	84.6	77.8	71.5	80.1	80.9	81.0	85.1	71.0	
		2月	—	88.3	88.8	81.3	77.0	83.8	77.4	75.3	85.1	86.2	85.3	85.2	75.6	
最小値		75.5	77.7	76.5	77.4	76.0	79.1	77.4	71.5	76.8	76.7	78.7	74.8	71.0		
最大値		91.1	96.9	97.6	97.4	95.4	97.2	95.3	93.3	91.6	94.5	95.6	94.5	94.3		
平均	82.0	87.7	88.3	87.6	84.5	87.5	87.3	82.6	84.2	85.5	86.4	84.0	82.5			

注 1) N-4.1-1 はヘリ着陸帯中央部であり、地点名にある N・S・E・W は方位を示している。

注 2) 平成 20 年 5 月の平均値は 5 月 1~28 日の測定結果から算出した。

注 3) 平成 23 年 4 月の平均値は 4 月 14~30 日の測定値から算出した。

注 4) 平成 24 年 3 月の平均値は 3 月 1~14 日の測定値から算出した。

注 5) 平成 23 年 8 月は台風等の影響で全地点が、平成 24 年 1~2 月は N2 の一部の日でデータが欠測している。

注 6) N-4.1-1 はヘリ着陸帯中央部であり、工事の進捗に伴い平成 24 年 10 月に撤去した。